

研修成果報告書 …… 資料、2

日時 平成31年 1月 17日 (木) 12:00~13:00

場所 グランドハイアット福岡 2Fサボイ  
福岡市博多区住吉1丁目2-82

【1】研修の目的

・佐藤正久 外務副大臣から、最新の外交と安全保障の情勢について学ぶ。

【2】研修の内容

佐藤正久外務副大臣の発言の紹介をもって、研修報告に代えさせていただきます。

火器管制レーダーを受けたが、これは射撃をする時に標的に対してレーダーを当てて、それに向かってミサイルを誘導するというのが火器管制レーダーである。非常に危険な行為であると言われている。日本政府は何故こんな事をするのかと抗議をするが、そんな事をしていないと言われて、モメている。

韓国はレーダー照射については漁船救助用に搜索レーダーではなく、火器管制レーダーを照射します。当初は火器管制レーダーを使用したと言っていたが、搜索レーダーを使用していたと途中から主張が変わった。火器管制レーダーは使用していないと変わった。

日本側は一定時間継続して、複数回照射を受けた。飛行機は移動するのに、レーダーが数分間照射を受けたって事は、レーダーをずっと飛行機に向けていなければ当たらない。

これは意図的である。当たった方は全部データを持っている。海上自衛隊はデータを分析し、証拠を持っている。国際の行動基準に韓国も日本も署名しているのに、今回韓国はやってしまったので、強く抗議をしている。

韓国は通信感度が低く、呼びかけがなかなか聞こえなかったもので、日本は3つの周波数を使って3回呼びかけた。韓国側の動画にもこの呼びかけが残っている。

人道救助活動を妨害したと言っているが、そこに北朝鮮の船から「助けて下さい」と要請が来たら、韓国だけでなく日本の海上保安庁や自衛隊にも無線が届くはずなので、韓国にしか届いていない。というおかしい状況。この海域は韓国と日本の暫定水域。両国とも漁をしていい海域だが、何故北朝鮮の船がい

たのか。4人漁師が乗っていて、1人は亡くなったが、3人は衰弱していた状態。普通は体力の回復を待って、事情聴取をしてから北朝鮮に送り返すのが通常である。ところが十分な事情聴取もせずに、2日目には北朝鮮に送り返した。どう考えてもおかしい状況。

今まで何回も海上自衛隊は近づいて写真撮影をしている。去年だけで数十回撮影しているのに、何故今回だけはレーダー照射なのか？レーダー照射をしないといけない理由があったのではないか。非は向こうにあるので、協議を要請し、証拠をつきつけて、韓国が認めるまでやる必要がある。隊員の命がかかっているのだから。

11月20日にほぼ同じ海域で韓国の海上警察が日本の漁船に警察権を行使している。韓国は二度とこのような事がないようにすると謝罪した。この時は謝っているのに駆逐艦の時は謝っていないので不信感を感じる。

これにはいろいろ背景があるとの見方がある。

この前の韓国で行われた国際式典には14か国中、9か国しか参加しなかった。韓国の方から自分の国の旗と韓国の国旗を掲揚するようにと。つまり海上自衛隊の軍艦旗をかかげるなど。結果として、アメリカとベトナム以外の7か国は韓国の要請を無視して軍艦旗を掲げた。アメリカとベトナムには軍艦旗がないので、参加した国全てが実質韓国の要請を受けずに軍艦旗を掲げた。

竹島にかなり多くの国会議員がヘリコプターを使って上陸した。11月21日は日本と韓国の慰安婦の合意によって、最終的に終わった事にしようと財団の解散を正式に決定した。安倍総理も「国と国の約束が守れなければ、国家としての関係は成り立たない」と明言した。

旧朝鮮半島出身者の労働者の裁判問題。これについて最高裁で、2国間の協定の外にあるから、しっかり払いなさいとの判決。日本が植民地支配した不法な行為だ。しかしこれは既に終わった話だと。三菱重工にも同じような判決が出ます。残り13の裁判も同じような判決がでるだろう。日本の企業に実害がでるならいろいろ準備をしている。しかし日本の企業にも少しは傷を負う事になる。向こうが強く出てきたら、日本が頭を下げるという悪癖は止めなければならない。

韓国からの被徴用者の保障を要求する。日本側は日本人と同じような形で支給してほしいという事ですか？と問うと、韓国側は日本人と同じように払って下さいと。韓国の徴用者に対しては韓国政府が支払うべきと言うので、韓国政府に個人賠償の分も韓国政府にまとめて支払ったと議事録もある。ノムヒョン

政権においても、被害者と言われる人達に2回支払っている。にもかかわらず蒸し返され、最高裁が判決をくつがえした。国際協定は2国間をしぼる。これは司法もしぼる。今回の件はありえない行動である。

弾道ミサイルの射程も伸び、精度が上がり、どんどんレベルが上がっている。ミサイルを4発発射し、落下場所から想定した半円を地図上に描いた。この範囲ならいつでもどこでもミサイルを落とせるという意図で。スカッドノドンミサイルは実践配備についている。日本も射程圏内におり、海上自衛隊だけでは手におえないので、陸地に迎撃ミサイルを配備しないとイケない。外交も防衛もそこまできている現実。

米国が制裁と圧力を続けるならば強行路線を回避する。製造や実験指示をしないとやっているが、核保有を前提にしている。具体的に核ミサイルを廃棄するという事はない。2月に2回目の米朝首脳会議があると言われているが、簡単にはいかないだろう。

もっと注意しないとイケないのが、中国。

防衛関連で言うと九州・沖縄辺りの活動がすごい。大きな爆撃機が日本一周したり。和歌山県沖も飛んでいた。

東シナ海におけるガス田開発。2008年で中間線を決めましようと言ったにも関わらず、いまだに協議もものってこない。中間線の向こう側に16個の大きなヘリポート付きのやぐらができている。

南シナ海は岩礁を埋め立てて3000m級の滑走路を作っている。オバマ大統領との約束で軍事基地にしないとと言いながら、どんどん軍事基地化している。

さらには南シナ海防空識別圏も作るような勢いで爆撃機の離発着訓練をどんどんやっている。ただ、自民党の閣僚にも、日本にとって南シナ海は関係ないと言っている方もいました。これは違って、南シナ海は日本の油の道です。油の9割が南シナ海を通過してきている。日本の備蓄は約180日分。これが今遮断されてしまうと、株価が大暴落し経済に大きな影響がでる。代替えルートを使った場合、5日間余分にかかる。大きなタンカーだと1日1600万円かかり、5日間だと1隻辺り8000万円のロスとなる。航行の自由とは安倍総理も強く言うように、自由で開かれた海でないと日本の国費が守れない。

九州～沖縄～台湾・フィリピンを第一列島線、伊豆諸島～小笠原諸島～グアムを第二列島線、もともとは第一列島線の内側にアメリカの船を入れず、第一列島線と第二列島線の間でやっつけるという中国の戦い方に基づいてこの線の名前が決められた。去年、グアム島に行った時に第三列島線が引かれていた。

アメリカはここまで考えている。ハワイ〜クック諸島〜ニュージーランドを第三列島線とし、アメリカは中国を考えた時に第三列島線まで考えないと、中国の進出がすごすぎて。パプアニューギニアで行われたAPECもこれが露骨に出る。

オーストラリアは日本の資源を持っている国。米軍はミクロネシアに多くの基地がある。日本の移民統治領がかなりあったが、中国がどんどん入ってきている。ミクロネシア、メラネシア、ポリネシアと3つある。ミクロネシアはアメリカ、メラネシアはオーストラリア、ポリネシアはニュージーランドと住み分けがあった。そこに中国がどんどん入ってきている。

台湾も17の国交があるうち、6か国をこの太平洋に持っている。中国は小人国をひっくりかえそうとしている。パプアニューギニアのAPECが始まる前に国賓と呼んでもらい、国交がある国の首相を呼んで会議を開き、それからAPECに臨み、大きく金をばらまく。ものすごい勢いで島を取りにきている。

もう一つアメリカとして絶対許せない太平洋の動きが貿易。貿易赤字。中国からアメリカには約5000億ドルの赤字。これをなんとしても止めないといけけない。資材、技術等もどんどん向こうに渡っている。産業補助金をどんどん支給し、自国の企業を守っているのも許せない。経済は強くなって軍事が強くなって、ハイテクになったら。

2025年までに製造という面でも強くなりたいと、7割を国内で生産するという目標がある。重点分野を世界トップクラスを7割にする為に、資材を盗む、技術を移転させる等。国を挙げてAI大国を目指す。各企業に命じて国策でトップを目指しているので、なかなか太刀打ちできない。

測位衛星を一番打ち上げているのが中国。日本の自衛隊のサイバー部隊は約500人、中国のサイバー部隊は最低でも13万人いる。それにAIが進歩していけば怖い。車の自動運転の位置座標をずらして事故が起きたと。そういう事も簡単にできる。自動運転程怖いものはない。測位の座標をずらしたり、電波を受信する電磁波を遮断したりする事で簡単に事故を起こす事ができる。

陸上自衛隊は人不足。5年連続で募集割れをしている。合格者数が1万5千人。でも入らない人が1万人いる。海上自衛隊は7割も採れなかった。こういう中で災害派遣で九州・広島・岡山に行ったが、40℃を超えるような暑さで厳しい状況だった。北海道にも行きました。町長さんが驚いていた。自衛隊はすごいと。41名が行方不明になったが、41名を90時間で見つけた。

阪神淡路大震災では6434人が亡くなり、あの時の教訓で72時間を過ぎ

ると生存率がかなり下がると言われている。でも90時間で全員見つけたのはすごいこと。私が北海道に入ったのは4日目で、現場に入る4時間前に41名全員見つかっていた。警察署員は引き上げていたが、自衛隊員は現場に残っていた。全員見つけたのにあと1日半は捜査をすると。何故か？これは、遺品の捜査をする。最終確認という名のもと、遺品の捜査をする。

私は隊員に何のためだったら命をかけるかと聞いた。ほとんどの隊員は家族と答える。国の為という隊員はほとんどいない。家族を愛せない人間が国を愛するのは無理。国を愛せない人間が世界平和という事はいえない。

